

市まち・ひと・しごと創生の取り組みの進捗状況

人口減少時代にあっても活力ある、持続可能な地域づくりを目指して

当市では、豊かな自然環境と産業集積の進んだ強みを生かし、人口減少時代の中でも、住み続けたいと思えるまちづくり、子育てがしやすく子どもが多いまちづくりに向けて、「市まち・ひと・しごと創生」の取り組みを推進しています。市のまち・ひと・しごと創生の取り組みは、市公式ウェブサイトで随時情報を発信しています。

<http://www.city.susono.shizuoka.jp/sousei/>

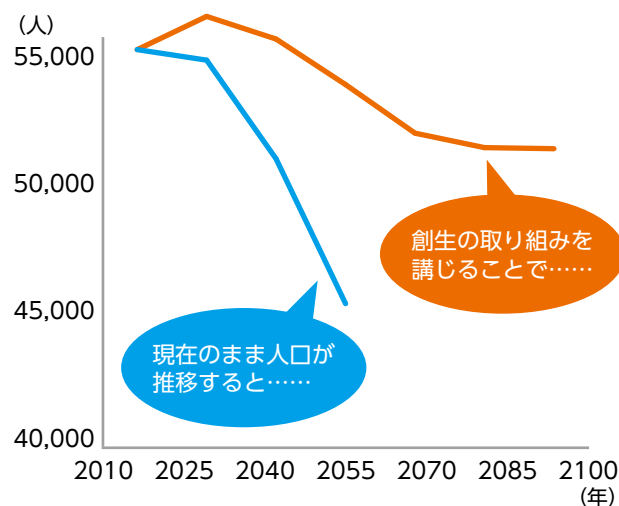
企画政策課

☎995-1804

当市のまち・ひと・しごと創生のポイント

人口の将来展望

2060年に人口5.2万人程度確保し、2080年以降、5万人程度で安定する地域社会を目指します。



まち・ひと・しごと創生の取り組み 3つの基本目標

1. 「住みたいまち裾野」のまちづくり 共生

誰もが住みたくなるまちであるため、自然環境と産業が高水準でバランスを保つ、裾野市らしいデザインのまちづくりを進めます。

2. すべての起点となるひとづくり 共育

人と人との関係がいつまでも豊かで、子育てに優しく、多様なライフスタイル・ワークスタイルが実現できる地域づくりを進めます。

3. まちやひとを豊かにする産業づくり 共栄

グローバル経済圏で活動する企業、地域資源を活用する地域産業が活躍し、誰もがチャレンジできる産業づくりを進めます。

今年度のまち・ひと・しごと創生の取り組み

1. 「住みたいまち裾野」のまちづくり “共生”

●集約都市形成に向けた基礎調査

人口減少・高齢化社会に対応できる持続可能なまちづくりを実現するため、コンパクトなまちづくりと、交通ネットワーク形成に向けた基礎調査を実施しています。



●新エネルギー機器等導入の促進

環境負荷を低減し、災害時には非常用電源としても利用可能な新エネルギー機器の購入を助成しています。⇒今年度4月から8月までに、52件の新エネルギー機器設置住宅を創出



●未利用地の宅地化促進

市街化区域の未利用地の宅地化を図るため、一定規模以上の優良な宅地分譲に助成しています。

⇒平成24年度の事業開始から今年度8月までに、235区画を創出



●企業と連携した災害時の体制整備

大規模災害時における地域連携・支援を強化するため、市内立地企業と大規模災害時の支援体制を構築しています。

⇒昨年度から11社と協定締結



2. すべての起点となるひとづくり“共育”

●市民活動センターの展開

市民活動センターによる市民活動団体への中間支援を強化し、情報提供や法人化などを含む相談、活動支援にあたります。



●豊かな心を育むきめ細やかな教育を推進

- ▶ 小学校に1～2人の特別支援員を配置
- ▶ 学習支援、生活支援を目的に小・中学校に非常勤講師を派遣
- ▶ 少人数指導などの推進に向け、小・中学校に学力向上支援員を配置
- ▶ 自主学習の支援のため、小・中学校に学力向上ボランティアを配置

●放課後児童室の運営を強化

保護者が昼間家庭にいない児童を預かる放課後児童室で、利用者の多様なワークスタイルづくりをサポートするため、市内9室で開室時間を19時まで延長しました。

●幼児の外国文化とのふれあいの機会創出

幼稚園・保育園に外国語指導助手（ALT）を派遣し、幼少期から外国語や外国の文化に親しむ機会を創出します。

⇒昨年度に217回、今年度8月までに87回の派遣



●児童生徒の“ほんもの”とふれあう機会創出

優れた芸術文化やアスリートなどその道のトップランナーとふれあうことで、児童生徒の新たな学びの機会を創出します。

⇒今年度8月までに、約1,400人の児童生徒が体験



●みんなで子育てするまちづくりの推進

既婚者の希望する子どもの人数2.55人を実現するため、年代や性別に関わらずみんなで子育てするまちの機運を盛り上げるため、ファミリーキャンパス裾野・長泉、英語DEリトミックなど各種イベントを展開しています。

3. まちやひとを豊かにする産業づくり“共栄”

●産業連携地域プラットフォームの構築

立地企業、地元企業・事業所、農家など分野を超えてオープンに対話する場としての産業基盤を構築します。

⇒産業創生協議会を今年10月に設立



●地域農業の担い手支援

高齢化する地域農業の新たな担い手の確保に向け、認定農業者や今後の地域で中心となる農業者の販路拡大、設備投資などに助成します。



⇒今年度8月までに、5件の取り組みに助成

●中小企業の取り組み支援「Suso-biz（スソ・ビズ）」

セミナーや個別経営相談会を実施し、中小企業や個人事業者、起業を目指す方のチャレンジをサポートします。

⇒今年度8月までに43件の相談対応



●地域特産作物の活性化支援

競争力のある特産作物の創出に向け、地域戦略作物に指定する作物の生産を支援します。

⇒今年度8月までに、そば、薬草を約15ヘクタール作付け

